

### 第4回府中市市民協働まつり プラッツつながりは無限大

11月の府中市市民協働推進月間に合わせて、第4回府中市市民協働まつりが11月24日(土)～25日(日)にル・シーニュ5階・6階の市民活動センタープラッツで開催され、当センターも参加しました。朝9時45分からの開会式では高野府中市長のあいさつがあり、約110の団体が参加のイベントが始まりました。

当センターは5階の特設ステージ近くにブースを構え、シルバー人材センターの活動紹介や入会相談、手作り作品販売などを行いました。

シルバー人材センターの仕事の説明をおこなったり、仕事を頼む際の手続きなどに答えたりと、就業につながりそうな話もありました。

クイズに正解すればシールが集められるクイズラリーの効果もあって、子供連れの若いご家族の方もたくさん当センターのブースを訪れてくださいました。

小物班では会員の手作り作品を所狭しと並べ販売をしました。色とりどりのかわいい作品も多いので、通路を行きかう人の目をひき、中には外国のお客様がお土産用にたくさん買っていくようすも見られ、一時はごったがえすほどの盛況でした。



25日午後3時45分から、特設ステージで閉会式があり、二日間のイベントも成功裏に終わりました。

### 働く会員の職場訪問 武蔵国府跡管理業務班

府中本町駅の改札口を出た右手に11月24日(土)オープンイベント、11月25日(日)オープンした国史跡 武蔵国府跡(国司館地区)があります。

武蔵国府は飛鳥～奈良時代の初め頃(7世紀末～8世紀初頭)から平安時代の終わりのころ(11世紀代)にかけて武蔵国を治めた行政機関で現代では都庁にあたります。国司館は武蔵国府に赴任してきた国司の居宅兼執務室で現代では都知事の公館にあたります。今回の発掘調査の結果、いままでも場所が確定できていなかった、7世紀後半～8世紀前半に造営された国司館と考えられています。

国史跡広場には国司館の復元模型と国司館のあった跡地には国司館の場所に復元された実物大の柱が並んで建っています。

国史跡広場には国司館を案内する管理事務所があり、ここに、武蔵国府跡管理業務班としてシルバー人材センター会員が6名体制(男性2名、女性4名)でシフトを組み就業されています。

11月24日(土)のオープンイベントの初日、この職場を訪問し、リ

ダーの芹江鷹生さんにお話を伺いました。

今日の日を迎えるにあたり、芹江さんを含めた5人のメンバーはいろいろ歴史について勉強され、来場者からの質問に対応できるように準備を行い、来場者にVR(バーチャルリアリティ:仮想現実)スコープを貸しだし、VRの当時の映像を見て、奈良時代にタイムスリップした体験をすることが出来ます。

国司館地区は年末年始を除き午前9時から午後5時まで一年中開園し(イベント開催などで臨時休園することがあるそうです)、土・日・祝日は2人、平日は1人の体制で取り組んでいます。



VR(仮想現実)で  
当時時代を体験



VRの貸し出し



国司館に使われた実物大の柱



国司館の復元模型